

第9回東吾妻町総合教育会議会議録

日 時 令和6年2月28日(水) 午前9時58分～午前10時48分

場 所 役場 3階 第2委員会室

出席者

(町長)

中澤恒喜

(教育委員)

教 育 長 山 野 邦 明

教育長職務代理者 茂 木 一 弘 委 員 清 水 有 子

(事務局)

副 町 長 石 村 文 明 学 校 教 育 課 長 谷 直 樹

学 校 教 育 課 次 長 加 部 貴 宏 社 会 教 育 課 次 長 割 田 千 恵 子

企 画 課 長 水 出 悟 総 務 課 長 関 和 夫

総 務 課 次 長 町 田 隆 総 務 課 主 事 篠 原 有 紀

総務課次長

お世話になります。皆様におかれましては、お忙しい中第9回東吾妻町総合教育会議に出席いただきましてありがとうございます。ただ今から、会議を進めさせていただきます。本日、進行させていただきます総務課の町田です。よろしくお願いいたします。

それでは会議次第に従いまして、進めさせていただきます。最初に町長より挨拶をお願いいたします。

町長

はい。みなさん、おはようございます。教育委員の皆様には、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また東吾妻町の教育全般に掛かりまして、ご尽力をいただいております。心から御礼を申し上げます。

さて、学童保育所でございますけれども、原町の学童保育所は太田地区に続きまして原町小学校の中に入りまして、新年度からそこで運営を開始するということがあります。運営者は変わりません。太田地区の学童保育所につきましては、4月から新たな運営者が入って行ってくれるということでございます。

1月から2月にかけて上毛かるたの競技大会というものがありまして、吾妻郡の関係では東吾妻町が席卷をしたということで、県大会にいても小学生の部で優勝者を出したり、中学生の部でも大変活躍いただいております。これは指導の方がこの時期になると本当に一生懸命子どもたちを指導していただいて、その成果だと思っておりますので、ありがたく思っております。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことでコンベンションホールの行事も復活をいたしまして、社会教育課は大変大忙しでございますけれども、芸能発表会でありますとか子どもさんのためのブラスバンドの演奏会、一青妙さんの観光大使就任、一青妙さんの映画をやったということでありまして、大変多くの皆様においでいただいて楽しんでいただいたり学習していただいたりということであります。3月2日、今度の土曜日には、生涯学習講演会がありまして、料理研究家の土井善晴さんが来て、講演をしてくれるということであります。これも多くの方が来てくれると思っておりますので、楽しみにしているところでございます。

台湾の基隆市との中学校の交流につきましては、先日、学校教育課長他が現地に参りまして打合せをしていただきました。来年度ですね、また復活して、12名の中学生を基隆市のほうへ建徳国民中学校へ派遣をしたいと考えております。また打合せした中で建徳国民中学校の生徒もこちらに来たいという意向があるようでございますので、今後話を進めてまいりたいと思っております。

高校入試も過ぎまして、東吾妻中の生徒が希望通り全員合格してくれるよう願っております。

本日は総合教育会議、ご協議のほどどうぞよろしくお願いいたします。

総務課次長

そうしましたら、協議事項の3につきまして早速入らせていただければと思っております。規定によりまして会議の議長は町長が務めるということになっておりますので、進行をお願いいたします。

町長 はい。それでは協議事項に入ります。1の東吾妻町教育大綱の見直しについてをお願いいたします。

教育長 はい。おはようございます。お世話になります。大綱の見直しということですが、一昨日、教育委員会を開催しまして教育委員の皆様には大綱についてご確認いただいて修正をしたということで、その修正した内容を今お示ししたところで。ただ1カ所、字が1文字足りなくて付け加えていただきたいのですが、社会教育なんです。

総務課主事 5ページなんですけど、皆さんにお配りした資料のほうは直してありますので大丈夫です。

教育長 ありがとうございます。

大綱、ある程度、紹介をするべきところではありますけれども、教育関係ということで、なかなか普段教育関係に携わらない方もいらっしゃるの、文科省の方針も含めながら、少し説明をさせていただこうかなと思います。よろしくお願いします。

文科省が学習指導要領というものを作って、各県、学校にこのように指導をお願いしますということで、出しているわけですが、まず今の世の中の様子に対応する指導方針ということでやっているわけです。一番は少子高齢化や人口の減少が大きな課題として挙げられています。それと、特に山間地域では地域コミュニティが、だんだん衰退してきているという現状があったり、そういう反面、AI化・技術革新、このあたりは本当に凄い進歩しすぎて、それに対応しきれない状況に今、あるのかなと思います。

いろいろなところがあったり、プラス働き方改革ということで学校関係、大分力を入れてます。その中には当然、教員の減少というのが大きな問題にはなっています。なかなかいなくなっているという。その事があるのですが、そういうのを踏まえながら、そういった中でも子どもたちに、じゃあ今のこの世の中についていける、そういう子どもたちを育てなければいけないということが文科省のほうで当然思っているわけで、主体的・創造的に生き抜く、そういう子どもたちを育てるということで今、取り組んではいます。それを受けて東吾妻町がどういうふうに取り組んでいるかという話をさせていただきたいと思います。

そういう中で、先ほど馬車の写真と車の写真を挙げておいたのですが、こちら側は1回もう話をしているの分かってはいるのですが、左のこれ馬車なんです。これニューヨークだそう。1900年の時のニューヨークの写真だそう。右もやはり同じ場所のニューヨークだそう。さて、今1900年って言いましたよね。右の車の様子、これ何年くらいだと思いますか。これ実は県の町村教育委員の研修会でグーグルの日本の統括の部長さんが話をされたんです。これ実は1913年の写真なんだそう。馬車から車に変わってるといって、1908年

にフォードが車を出したんですね。それによって大きく社会が変わってしまったということなんだそうです。その中で当然、馬車がなくなるということは、馬具を作っている業者は衰退していくわけですよ。ただ、衰退していきただけじゃなくて、次のことを考えていかないと事業が成り立たないということで、有名な馬具業者のうち、グッチとかエルメスとかダンヒル、これ馬具の業者だったんだそうですけれども、新しい道としてバッグ作りの他、そちらのほうに変わって今でも、素晴らしい業績を挙げている会社ですけれども、そういう風が変わってきた。早い話、ちょっとした期間で大きく変わることがありえる。今の日本の社会もAIが進んでいく中で、当然仕事が今後大きく変わっていく、今の子どもたちが思っている、見ている仕事と自分たちが大人になって仕事に就こうとしたときの仕事と同じものかどうかというのがわからない。そういうものを踏まえながら、子どもたちに今自分で考えて自分で行動できるような子どもたちにしていかなければいけないというのが基本にあります。そのことがあったので、紹介をさせていただきました。

本町のいろんな課題があるのですけれども、学習面ですとか施設面ですとか、いろんなところで話を申し上げると、まず学習面では、全国的に一人一台端末ということで、GIGAスクール構想というのがありまして、町にも協力していただいて、その整備に向けてやっています。ただ整備だけじゃなくて、それを子どもたちがうまく使えるようにしなければいけない。そこが今、課題になっています。一番の課題は指導者が、なかなか着いていけないというところもあるかと思っています。

それと、中学校でいいますと、不登校傾向の子どもが続いて、別登校ですとか、そのこの辺りも増えてきている現状があります。これにも一生懸命、対応していただいています。今後新たな取り組みを考える必要があるかなと思っています。それと施設面については、だいぶ古くなってきている部分があったり、それを補修、改修していかなければならないという課題もあります。特に中学校の体育館については2階の窓が開かなくなったり、なかなか開きづらくなったりとか外れてしまったりとか、そんな事もあるので早めの建て替えも必要じゃないかなと思っています。そういういろんな部分で改修が必要なところも出てきています。

もう一つは、昨年、町長さんにも大変お世話になって、給食センターのあり方検討委員会を行いました。今後の給食センターのあり方ということが、課題の中にはあります。

それと、社会教育のほうでは、人口減少からくると思われるPTAの会員数の減少です。活動が衰退していくという事が挙げられています。それと共に各地域の社会活動をしている文化活動をしていたりスポーツ活動をしている団体の減少もあります。減少と共に疲弊化しているというところもあるので、そのこのところがあります。

あと課題とすれば文化財関係の今後、岩櫃城跡を含めて、まだまだ調査をしながら、保存または活用に向けていく必要があるというふうなところがあります。

そんなところがある中で、過日、教育委員会事務の評価というのをやっていただきました。加部保一さんと茂木良一さんのお二人に評価をしていただきました。そ

の中で、見えてくるのは、しっかりPDSサイクルをしっかりしようと。PDCAではなくて、もう次のPDS、すぐに次に行動しようと。そういう事を評価をされました。

その他には、やはり子どもたちの個々の対応できるのには、マイタウンや支援員が必要ですねという話を頂いたりはしていました。

そういう課題のある中で本町の教育という事で、「東吾妻町教育行政方針」この1枚紙をご覧ください。この教育行政方針と皆様方にお示しをした大綱は、だいたい同じものです。大綱の一番の内容、具体的に書いてあるのは大綱でありまして、大まかなところを取り出したのが、行政方針ということなので、行政方針のほうで説明に変えさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ここの中では住民が誇りを持って暮らすまち きみとあなたとということ、豊かな心を育む学びのまちを実現するために、学校教育・社会教育で行うことということで主な施策についてここに挙げておきました。

学校教育の関係からで言いますと、未来を担う子どもに生きる力を育む保育・教育の推進。これが目標であります。

主な施策としましては、まず必要なことは、学力の確実な定着ということです。この辺りについては、町のほうでも力を入れていただいておりますし、学校のほうでも力を入れていただいております。学びに向かう力は、人間性を涵養しますですとか、特別支援教育の体制整備と充実、このところは特に力を入れております。今度、8月1日ですか、保育所とこども園の職員研修では、小林宗作さんの指導方針を取り入れている国立音楽大学附属幼稚園の園長先生をお招きして、特別支援に関わる指導の方法、具体的なお話いただくことになっております。それと、国際交流による学びを促進しますということで、先ほども町長さんが話されました、来年度、7月下旬に中学生の交流を予定をしております。

2番目ですが、生命や人権を尊重し、互いに認め合い、自他を大切にする心の育成ということで、この辺りについては、しっかり人権教育も含めて学校のほうでいただいております。

3番目の生涯にわたり健康に過ごすための心と体の土台づくり。これも学校のほうで丁寧に子どもたちに対応していただいております。コロナも終わったということで、少し楽になったところはありますけれども、学校のほうは健康づくりということで、一生懸命やっております。この中には給食センターのあり方というところについても、今、教育委員会としては取り組んでおります。

4番目、教職員の資質・能力の向上。ここは学校でも頑張っていただくのですが、教育委員会として行政として、どんな支援をするかということで、ICTを上手に活用できるような支援、WIFIのもう少しフリーズしないような状態にしてあげるとか、いろんところでまた支援が必要なところがあります。そういう支援をしたり、また東吾妻町教育研究会というのを本町で持っているのですが、皆さんのところには組織図をお配りしてあるかと思います。部長さん、副部長さん、こんな感じで今年はやっておりますということで、氏名をそのまま載せたままなん

ですが、学力向上対策部、学校間連携部、研修事業部ということで、それぞれ、いろいろな取り組みをしていただいています。これはあくまでも上の人たちだけの名前でありまして、この下にそれぞれ、各こども園、小中学校の先生方が研修に励んでいただいています。その設定は町のほうでしております。また、この他にも研修会は可能な限り増やしながらか、先生方に資質の向上を目指して努力をしていただいているということです。

5番の開かれた保育所・こども園・学校づくりの推進及び運営体制の充実ということで、来年度からコミュニティ・スクールを小中学校、こども園で実施をすることになりました。これに向けては、まだまだ円滑に進められるかどうか難しい部分はありますけれども、まずはスタートして、その中で解決できるものは解決しながら、地域との繋がりをうまく持ちながら、地域の活性化も含めて、学校、こども園を盛り上げていければというふうに思っております。

それと、6番目に保育・教育の環境や条件の整備ということで、これはやはり、1つは最初申し上げました施設の老朽化の部分があったりで、改修を重ねながら安全、安心に子どもたちが過ごせる環境を作っていくということです。それと当然、昨年度から育英制度も少し入学準備金ということで増やしまして、可能な限り入学に関する支援をしていくという、そんな取り組みをしているところです。

また、社会教育につきましては、目標として子どもから大人まで、より多くの住民が学び、楽しみながら主体的に学べる生涯学習社会の振興、もう一つは、地域の文化財、民族芸能や伝統芸能の保存と学習の機会及び整備の推進ということで、主な施策につきましては3点。

1つは生涯学習・生涯スポーツ活動の推進。これもここに5点ほど挙げてありますけれども、取り組んでいます。ただ新しく取り組むものとしましては、国体が2029年に、カヌー競技が東吾妻町で開催というのが決まっております、これに対して、そろそろ準備をしていかなければいけないかなと、そんなことがありますので、力を入れていくということです。

また、文化・芸術振興と充実につきましては、国指定になりました岩櫃城跡以外にも、東吾妻町に中世にいっぱい城があったのを今、再調査して岩櫃城との関係ですとか、いろんな調査をしながら保存をしたり、それをうまく活用していくという方向で今、調査が始まっているところでございます。こういったことで、文化財についても、いろんな広報を通しながら、町民の文化財に対する気持ちを掘り下げていくというのが必要なのかなと取り組んでおります。それと「人権尊重の町」の推進ということで、これは、人権宣言が本町で一昨年ですか、出たと思います。議会で決められましたが、それを受けて、いろいろなところで、人権に関わる広報も含めて、活動をしていくという方針で進めているところであります。

次年度に向けても、このような形で進めていけたらというふうに思っております。詳しい話を申し上げているとなかなか時間もということなので、大まかなところで話をさせていただきました。これについて、いろいろな、ご助言、ご指示をいただければ、また新たに付け加えながら進めていければと思っておりますが、よろ

しくお願いいたします。

町 長 今、教育長さんから説明がありましたけれど、このことについて皆様のほうから、ご意見等ございましたらお願いいたします。

教 育 長 付け足しで、せっかく資料を持ってきたので、この2枚も入ってると思うのですが、こちらの保育所・こども園・小学校・中学校で育む人間力と一番上にタイトルが書いてある、これは年度当初に各こども園、小中学校には配布をして、こんな形で指導してくださいということでお願いをします。もう一つは、社会教育のほうなんですけど、社会教育に関わっているものを一覧にしてみました。これを参考にまた教育委員会のほうでも取り組んでいくということです。あくまでもやはり参加する人達が自分でできるようにしていくのが教育だと思いますので、こっちですべてしてあげるといっていいかと思いません。そんな状態を作りあげてやるのが我々の仕事かなと思っています。

町 長 どうですか。

副 町 長 基本的なことがわからなくてすいません。1つだけ。10年計画が総合計画であって、大綱の計画も30年度から10年間ということなんですけど、それで6年3月改訂ということなので、毎年ローリングしてるんですか。

教 育 長 一部分ということで、大まかなところは全く変わっていません。

副 町 長 そうすると、今年特に強調してる部分というのは、どういうのですか。

教 育 長 今年につきましては、来年度にスタートするコミュニティ・スクールですとか、社会教育でいいますと地域学校協働活動というのがあるんですけど、そのあたりを新たに作っていかねばいけなわけなので、そこを追加をしたりしていました。

副 町 長 コミュニティ・スクールと育英制度の準備金、その辺を入れたと。

教 育 長 育英制度のほうは去年、ここで提示させていただいたので。

副 町 長 それから地域移行ですか。

教 育 長 部活動の地域移行ですね。そのところが今、課題であります。

副 町 長 ありがとうございます。

町 長 部活の地域移行への取り組みはどのような動きをしているのですかね。

教 育 長 はい。昨日ですね、地域の部活移行についての会議が、ちょうどこの部屋で行われました。まだ雲を掴むような話と言ったほうが早いかなと思うのですが、今郡内で教育委員会の課長さんたちが集まって、吾妻郡内として、どういうふうに取り組んでいこうかという会議が1つあります。そのトップが長野原の町長さんの萩原町長さんがスポーツ協会の会長をされているので、そこが1つ。それと今度は町村単位ごとに、どうしていこうかという会議を設けているのが、谷さん、2つか3つ、全部はまだ設けてないですよ。

学 校 教 育 課 長 そうですね。

教 育 長 今、そんな状況でいるわけなんですけど、本町で昨日会議を開いてそれぞれのいろんな団体に会議に来ていただいたのですが、意見を頂いたというところでありまして。じゃあこうにしていこうとまでは、とてもいかない状態で。ただ意見の中で言われているのが、子どもたちが一番大切なところにあるので、早く方針を決めろというのがありました。当然のことだと思うのですが、この町だけで解決できるものじゃないものもたくさんあるので、なかなか他の会議との繋がりを作っていくところが今、厳しい状況にあるかなというふうに思います。

例えば郡内では、ちょっとした取り組みをしている所が高山村。高山村は冬場、1月、2月、3月ですか、部活を中止ということをしました。それを受けて地域では、子どもたちができるスポーツに参加すると、そういうような体制を作ってみる。あくまでも3月まで。4月からは、また通常通りに戻ると思うんですが、そういう所もあります。

もっと大きな所でいくと、岐阜県では、やはり冬場、部活がなしという形、岐阜県全体で。PTAのほうで受け皿を考えて、取り組むというような試行的なところをやっている所もあるそうです。

なかなか難しいところで、中体連の大会との絡みがあったり、いろいろなところがありまして。

昨日、また意見が出た中で、吾妻郡内の少年野球チームの監督が集まって、何回かもう会議をしています。その会議は野球に関しては、我々で受け入れていく部分も作れたらなということで会議を進めているんだそうです。その裏には、少年野球チームの中には、人数が足りなくて、とても自分たちではやっていけない。そういうこともあるということなんです。そういうので、やる気ムンムンでいるところだったのですが、中体連のほうからすると、この資格を持ってなきゃいけないですよ、この資格を持ってなきゃいけないですよというのが、2つか3つあるそうです。ところが監督さんたちは、この資格はないと。ということは中学生の子どもたちを指導することができない。そんなことも今出てて、これどうするんだいという話が昨日も出ていたところなんです。中体連として、県として、その辺のところを少し緩めて

くれないと、指導するほうも指導できない状況になってしまう。そんな話も出たところでした。今後は、そういう話も上に伝えながら、早く地域移行ができるようにしていかないといけないと思うので、担当の佐藤のほうにも、次回はちゃんと方向性を示して会議を開かないとという話はしておきました。そんな昨日の状況でした。

町 長 はい。ありがとうございます。

学校教育課長 その部活移行ので郡の課長会、課長のミーティングというのが明日行われて行くのですが、やはり郡内の中で、いろいろ調整して町村を飛び越えて活動できるようにとか、そういったことがその中で話し合われています。

今、教育長の中にもありました地域移行ですが、土日をどうするかというところで、その中では話し合われているわけなんですけど、草津町みたいなところは、土日は観光業の人が殆どなので、他の地域と違うんだよなという意見も出てきていたりして、地域差がちょっとあるかなんていうことで、なかなか進まないようなことではあるんですけども。明日は長野原町役場のほうで、また行われます。

教 育 長 現在部活動指導員という方にお世話になって、部活指導しているんですが、1人、今年は卓球の桑原さんという方に指導いただいています。ただ今日も2月に指導した内容があがってきたんですけども、2日でした。その1つは、日曜日に遠征に行くのに一緒について行っていただいて4時間、あとは1時間平日に来てもらったということで、実績とすると、なかなかそんなには来ていただけてない。仕事もあることですし、今後そういう部活動指導員というのが増やせればまたいいのでしょうけど、またそこで人材確保の問題も出てきている、そういう状況もあります。

茂 木 委 員 部活動指導員はまだ補助金は出てるんですか。

教 育 長 まだ出ますね。

町 長 清水教育委員はバスケットの指導なんかできるんじゃないですか。

清 水 委 員 まずうちの子も現役で卓球をやってて、殆ど指導者が毎日いないって言ってました。先生も、もちろん学校のほうで忙しくて、桑原コーチもほとんどいらっしゃってないという話はよくしています。ただもう一人バスケットのほうで指導員の方が、今年の春ですかね、お辞めになった方がいたんですけども、その人が、私はそのとき教育委員ではなかったんですけども、元部員の保護者の親に言われたんですけども。今までバスケットのほうは指導員がいなくて、その方に、仕事の後をお願いして、うちの上の子なんかはバスケットの指導を一生懸命してもらいました。平日も来ていただいたり、土日も。でも新しい指導員の方が、先生のほうが2

人、教頭先生は指導員ではないんですけれども、顧問の方が増えて、そしたら邪魔にされるじゃないんですけれど、行きづらくなってしまって、先生とコーチと指導員の方の確執じゃないんですけれども、あって。1年したら、2月に、来月から来なくていいよというか終わりになるからと言われて、顧問の先生からありがとうございましたっていう挨拶もなく終わりになったと言って、そういうふうに言われたんですね。その時に、いろいろな確執があるだろうけど、一社会人として、子どもたちを今まで見ていただいたんだから、挨拶くらいはしたほうがいいし、子どもたちにお世話になりましたという言葉もかけさせたほうがいいんじゃないかなと、私はすごく思ったんですね。で、その話によると、周りにいた指導員の方もそういう感じだったみたいなことを聞かれると、やっぱり教職員との指導員の確執じゃないんですけれども、それがあって、なかなか定着しないのかな、なんて少し思いました。

町 長 そうですか。

副 町 長 いいですか。生徒からみると指導者が複数になっちゃって生徒の判断というか、どちらのことをしっかりと受け止めたらいいのか、迷いが生じるというような場面ができていくという部分はあるので、土日と平日の組み合わせを本当にしっかりと考えて、子どもに提供していくという事を考えていかなきゃという話もありましたが。予算をですね教育委員会から若干多めに要求を。

学校 教育 課 長 5名分。

副 町 長 なので、そういう方向でモデルを作っていくと進まないの、頑張ってもらいたいと思います。

清 水 委 員 やっぱこの権限を持たせるのは、先生が補佐的な役で、指導員の方にコーチ、監督という形で入っていただいたほうが私的にはチームの安定性もありますし、と思ったんですけど、ただそうすると先ほど言いました指導員の資格とか、あと子どもたちのいろいろなメンタルが、学校の先生にしかできないこともあるのかなと思うと、なかなか難しいなと思いながら聞いてました。

教 育 長 このところは、課題の一つになっています。

清 水 委 員 卓球で一番困ったのは、桑原コーチが学校の先生がいらっしゃらない大会の時にいらっしゃったときに、オクレンジャーありますよね、あれの権限がないんですね。なので、保護者の方のお迎えとか、中之条の体育館でやったときに保護者のお迎えをするのに、桑原先生は権限がないのでオクレンジャーを飛ばせないの、それで子どもたちの召集時間、何時に迎えに来てくださいますかと終わりましたという連絡

がいただけないので、その時に当日、ちょっとバタバタして顧問の日野先生に連絡して、日野先生がオクレンジャーを回してくれたってこともあったので、ちょっとしたそういう権限みたいのが、いろんな方に、今されているのは1人だけですけども、欲しいなと思いました。

教 育 長

課題はたくさんクリアしていかなければいけないところなので。

清 水 委 員

あとちょっといいですか。この間中学校でPTA総会があったんですけども、その時に校長先生が来年度から、部活移行の話みたいなことを言ったんですね。その時に保護者の方が、何度も通知はいただいているんですけども、部活移行をわかってない方がほとんどというか。なので紙で部活移行とはみたいな感じでバーンと出されるのはいいんですけど、親なんか長々書いてあるのを、じっくり見ないので、ちょっとこうバーンというのを outs させていただいた後の説明みたいな、ちょっとこう動機付けがあれば、少し食いついてくるのかなと思うんですけど。保護者の方、アンケートもしてまますけれども、理解されてない感じが。部活移行って何という保護者の後ろからの声とか、先生が働き過ぎだから、先生を楽させてあげるんだよというそういう話とか、そういうふうに言われてもしょうがないのかなと思うけど。説明とかは私はしませんでしたけれど、理解されてないのかなというのがちょっと。

教 育 長

一番は、例えばPTA総会なんて昔、みんな集まっていただけのことがあったので、そういう時にね、学校長からこうなんですって説明があると、わかりやすいと思うんだけど。アンケートにも全部説明書きをした上でのアンケートだったんですけど、なかなか読まないですよ。

清 水 委 員

読まないですね。

町 長

茂木さんのほうからなにかございますか。

茂 木 委 員

はい。では1点お願いをさせていただければと思います。

教育行政方針の中にも書いてあるんですけども、マイタウンティーチャーと学校支援員の配置、これ学校にとっては非常に大切です。というか今までの経験を踏まえるとありがたかったという思いが強いので、継続した配置をお願いできればと思います。特に私は中学校と最後はこども園。まず園については本当に子どもたち、いろんな動きをするので一人一人のこどもから目が離せない。今日の記事にもうずらの卵のこともありまして。食事中そういった健康のこともありますし、子どもたちどんどん吐くんですね、食べながら。そういったこともあります。また興味を持ったら、どんどんスッ飛んでいきますので、本当に一人一人の子どもから、目が離せない。今、園にされている支援というのは非常に役に立つというか、子どもたちの

安全面、指導はもちろんですけども、そういった面でありがたかったかなというのが園で感じたことです。

中学校においては学力の向上、学習支援はもちろんなんですけれども、一番私が印象に残ったのは、不登校、特に別室登校の生徒への対応。別室登校で、もちろん職員も教職員も対応するんですけども、それぞれが1人ずつでついたらなんか立てて顔を合わせたくない、他の生徒と接触したくないというような子は多いので、そういう対応はもちろんなんですけれども、そうするとせっかく学校へ来て、他の子と関わりがまったく無い。それなので、放課後何かできないかなど。それで「ものづくりサークル」みたいなのを作るかと。中心になってもらったのは正規じゃなきゃできないので、養護の先生に話をして中心になってもらったんですけども、実質動かしてくれたのは、それぞれの特技を持った支援員さんでした。中学校では図書支援員さんがいました。週1日、放課後、そういう子どもたちが関われる、一緒になってものを作ったりとか。それを一生懸命やってくれて文化祭で作品を掲示したりとか、この中で関わりが出てきた。なかなか先生方はそこまではお願いできないとか部活動もありますので。そういった意味で継続した配置というか、限られた予算の中で、大変な面もあるかと思いますが、ぜひ配置を継続していただきたいと、これが一つ大きなお願いです。

町長 東吾妻町はマイタウンティーチャーさんなんかは、一応他の町村よりは、充実しています。役に立っていると。

教育長 ありがたいです。本当に。

町長 学校教育課長、建徳国民中学校との話の内容なんかについて、ちょっとここでご報告して。

学校教育課長 はい。台湾の基隆市との交流について先日、先方のほうに行かせていただきました。4年事業が止まっていたんですね。第1回を行って、すぐコロナになってしまった為に、当時の校長先生も異動され、担当だったスタッフの方も入れ替わり建徳の中学校さんは76名の教員の先生がいらっしゃる、すごく大きな1000人以上中学生がいる中学校なんです。その後オンライン交流をやろうとか、いろいろとこちらでアピールをしたわけなんです。暫く放つかれるようなことが暫く続きまして、本当に継続してできるのだろうかというようなことで、担当もかなり心配をしまして。昨年の夏も日にちまで決定をしたんですが、直前になってできないと言われて、これはもう建徳さん背中向けたかなというようなことでですね。今、台湾との繋がりはいずれしかないものですから、なんとかそこを続けられるようにということで今回、担当と行かせていただきました。

また、通訳に箱島に在住の大塚さんという女性の方で、台湾の台南市出身の方なんです。その方に一緒に行っていました。この通訳の方がいないと、前に

進めないなというのが、翻訳機能を使って今までやりとりをしてたんですが、要するに箇条書きの言葉しか行けないので、気持ちが全然伝わらないというのが言葉の壁だなというのを感じていて、大塚さんは、こちらで出産をされ子育てもされている方だったので、日本語もすごく上手で、こちらの気持ちも伝えてもらえるかなということで、今までずっとお願いしている方なんです。その方に一緒に行っていただいて建徳さんのほうへまず伺いました。すいません。建徳さんの前に、その建徳さんがちょっと心配だったものですから、前いた校長先生にアポを取っていただいて、その校長先生に、もし建徳が駄目だったら、その校長先生が今いる基隆市内にある他の中学校と交流をしてもいいのではないかと、交流先を変えてもいいのではないかとという考えでございましたので、その校長先生に一番先に会ってその後に建徳さんに行ったわけなんです。どちらも大歓迎ですね、結果から言うと、大歓迎でこちらの心配なかったんですが、7月の下旬の30日からかな、一応、予定できるということで、お話をさせていただいて大歓迎を受け、結果的には両方の中学校から日本に来たいと言われているので、ちょっと困っているのですが、こちらからは12人しか今のところ連れて行けないのですが、向こうから来た子どもたちと交流は、こっちにいる中学生がみんな、顔を合わせることでできたりするという、すごくいいこともありますので、なるべく、そういった交互の交流というのを進めていければというふうに考えております。

町 長
学校 教育 課 長

向こうの中学校は大きい中学校だから、来るとすれば大人数来るといことか。

その建徳さんは、昨年秋ごろに関西、滋賀県だったかな、あっちのほうにも行かれてるんですね。それは、代表者みたいな感じで行ってたので、こちらに来るのも代表者という形になるのではないかなというように。結構、いろいろな活動もしていたりするので、その中の絞られた人ではないかなと思うんですけど。この方も前の校長先生のところは明徳国民中学校という明るいという字に、道徳の徳という字を書きますが、そこは500人くらいの規模の中学生と言っていました。うちは250人くらいなので、そっちのほうが付き合いやすいなという感じは受けたんですけど。建徳さんは、交流を約4日間、3泊4日でうちで計画してるんですが、そのうちの、まるまる2日間を向こうでカリキュラムを組んで、交流をしてくれるということで、港町なものですから、海洋研究とか環境保護とか、そういった学習もしてたりして、あと海でシーカヤックという海の上で乗るカヌーですかね、そういうのもできればというお話をいただいています。

町 長
教 育 長
町 長

どうですか、他に何かありますか。

特別にはないですが。

職員のほうから何かありますか。

教 育 長

お願いということであれば、茂木委員が話をしたように、子どもたちの体制をしっかりとる意味でマイタウン、支援員というのは、本当にありがたいことで、今後も支援をしていただければありがたいなと思っています。

町 長

はい。協議についてはこの程度でよろしいでしょうか。
それではお返しします。

総 務 課 次 長

はい。大変お世話になりました。
そうすれば、以上をもちまして第9回東吾妻町総合教育会議を終了させていただきます。大変ありがとうございました。